

Ⅲ 教育内容・方法・成果

1 開設授業科目における専兼比率

(表7)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
総合福祉学部	社会福祉学科	専門教育 専門科目・教職科目・社会教育主事資格科目・ 図書館司書資格科目	専任担当科目数 (A)	2.0	1.0	105.8
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	68.2
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	100.0	100.0	60.8
		教養教育 学部共通総合科目・外国語科目・教養科目・人 間科学基礎科目	専任担当科目数 (A)	4.8	-	69.2
			兼任担当科目数 (B)	3.2	-	45.8
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	60.0	-	60.2
	実践心理学科	専門教育 専門科目・教職科目・社会教育主事資格科目・ 図書館司書資格科目	専任担当科目数 (A)	3.0	2.0	107.5
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	51.5
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	100.0	100.0	67.6
		教養教育 学部共通総合科目・外国語科目・教養科目・人 間科学基礎科目	専任担当科目数 (A)	4.6	-	70.5
			兼任担当科目数 (B)	3.4	-	46.5
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	57.5	-	60.3
人間社会学科	専門教育 専門科目・社会福祉士試験受験資格科目・教職 科目・社会教育主事資格科目・図書館司書資格 科目	専任担当科目数 (A)	2.0	-	82.5	
		兼任担当科目数 (B)	0.0	-	44.5	
		専兼比率 % (A / (A + B) *100)	100.0	-	65.0	
	教養教育 学部共通総合科目・外国語科目・教養科目・人 間科学基礎科目	専任担当科目数 (A)	5.0	-	68.4	
		兼任担当科目数 (B)	3.0	-	44.6	
		専兼比率 % (A / (A + B) *100)	62.5	-	60.5	
学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
看護学部	看護学科	専門基礎科目 看護専門科目 看護発展科目	専任担当科目数 (A)	50.5	-	54.5
			兼任担当科目数 (B)	18.5	-	18.5
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	73.2	-	74.7
		基礎科目	専任担当科目数 (A)	8.0	-	21.3
			兼任担当科目数 (B)	5.0	-	14.7
			専兼比率 % (A / (A + B) *100)	61.5	-	59.2

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
国際コミュニケーション学部	人間環境学科	専門教育 専門科目・演習科目・教職科目・博物館学芸員資格科目・日本語教員養成科目・実践科目	専任担当科目数 (A)	0.0	18.0	126.5
			兼任担当科目数 (B)	0.0	3.0	92.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	-	85.7	57.8
		教養教育 大学共通教養科目・教養基礎科目・学部共通教養科目・外国語科目・メディア情報科目・コミュニケーション科目・自立促進教育科目・メディアリテラシー科目	専任担当科目数 (A)	5.0	5.4	43.2
			兼任担当科目数 (B)	4.0	4.6	57.8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	55.6	54.0	42.8
	経営コミュニケーション学科	専門教育 専門科目・演習科目・教職科目・博物館学芸員資格科目・日本語教員養成科目・実践科目	専任担当科目数 (A)	6.0	6.8	62.1
			兼任担当科目数 (B)	0.0	3.2	62.9
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	68.0	49.7
		教養教育 大学共通教養科目・教養基礎科目・学部共通教養科目・外国語科目・メディア情報科目・コミュニケーション科目・自立促進教育科目・メディアリテラシー科目	専任担当科目数 (A)	5.0	5.6	42.2
			兼任担当科目数 (B)	5.0	4.4	62.8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	50.0	56.0	40.2
文化コミュニケーション学科	専門教育 専門科目・演習科目・教職科目・博物館学芸員資格科目・日本語教員養成科目・実践科目	専任担当科目数 (A)	6.0	0.0	103.0	
		兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	121.0	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	-	46.0	
	教養教育 大学共通教養科目・教養基礎科目・学部共通教養科目・外国語科目・メディア情報科目・コミュニケーション科目・自立促進教育科目・メディアリテラシー科目	専任担当科目数 (A)	6.0	8.0	48.2	
		兼任担当科目数 (B)	4.0	6.0	66.8	
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	60.0	57.1	41.9	
学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
国際コミュニケーション学部 (通信教育部)	人間環境学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	1.0	44.0	49.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	48.0	58.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0	47.8	45.8
		教養教育	専任担当科目数 (A)	0.0	14.0	14.0
			兼任担当科目数 (B)	1.0	18.0	19.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0	43.8	42.4

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
 - 3 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
 - 4 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
 - 5 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
 - ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
 - ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります
 - 6 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください。
(例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります)。

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表8)

学 部 ・ 学 科		認定者数 (A)	他大学		短期大学		1人当たり 平均認定単位数 (B+C) / A
			認定単位数総数 (B)		認定単位数総数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
総合福祉学部	社会福祉学科	2	0	4	0	6	5.0
	実践心理学科	2	4	2	0	0	3.0
	人間社会学科	0	0	0	0	0	0.0
計		4	4	6	0	6	4.0
看護学部	看護学科	0	0	0	0	0	0.0
	計	0	0	0	0	0	0.0
国際コミュニケーション学部	人間環境学科	0	0	0	0	0	0.0
	経営コミュニケーション学科	0	0	0	0	0	0.0
	文化コミュニケーション学科	0	0	0	0	0	0.0
計		0	0	0	0	0	0.0
合 計		4	4	6	0	6	4.0

[注] 1 他大学または短期大学との単位互換協定に基づき単位認定を行っているものを記載してください。

2 2009年度の実績を記入してください。

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況

(表9)

学部・学科		認定者数 (A)	大学・短大・高専等		その他		1人当たり平均 認定単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
総合福祉学部	社会福祉学科	0	0	0	0	0	0.0
	実践心理学科	0	0	0	0	0	0.0
	人間社会学科	0	0	0	0	0	0.0
計		0	0	0	0	0	0.0
看護学部	看護学科	2	0	5	0	0	2.5
計		2	0	5	0	0	2.5
国際コミュニケーション学部	人間環境学科	3	0	0	0	12	4.0
	経営コミュニケーション学科	1	20	4	0	0	24.0
	文化コミュニケーション学科	11	144	94	0	0	21.6
計		15	164	98	0	12	18.3
合計		17	164	103	0	12	16.4

- [注] 1 原則として、大学設置基準第29条及び第30条で規定された「大学以外の教育施設等における学修」と「入学前の既修得単位等の認定」に該当するものを記載してください。ただし、上記には該当しないものの、単位互換協定以外で学生が国内外の大学において履修した授業科目の単位を自大学の単位として認定している場合は、本表の「大学・短大・高専等」欄に含めてください。
- 2 「大学・短大・高専等」欄には、大学、短期大学または高等専門学校の特攻科における学修を、「その他」欄には、「大学設置基準第29条第1項の規定により、大学が単位を与えることのできる学修を定める件」（平成19年文部科学省告示第146号）に定められた学修を記載してください。
- 3 2009年度の実績を記入してください。
- 4 編入学生については、本表に含めないでください。

4 卒業判定

(表10)

学部・学科		2007年度			2008年度			2009年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
総合福祉学部 (社会学部)	社会福祉学科	452	414	91.6	405	380	93.8	393	373	94.9
	実践心理学科 (心理学科)	195	173	88.7	198	175	88.4	187	166	88.8
	人間社会学科 (社会学科)	161	147	91.3	166	149	89.8	147	124	84.4
計		808	734	90.8	769	704	91.5	727	663	91.2
看護学部	看護学科									
計										
国際コミュニケーション 学部	経営環境学科	4	0	0.0	2	1	50.0	—	—	—
	人間環境学科	133	106	79.7	168	143	85.1	153	130	85.0
	経営コミュニケーション学科	106	96	90.6	81	72	88.9	89	78	87.6
	文化コミュニケーション学科	292	249	85.3	291	255	87.6	272	237	87.1
計		535	451	84.3	542	471	86.9	514	445	86.6
合計		1,343	1,185	88.2	1,311	1,175	89.6	1,241	1,108	89.3

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

5 大学院における学位授与状況

(表11)

研究科・専攻			2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		2009年度		備考
			修了予定者数	学位授与者数									
総合福祉研究科 (社会学研究科)	社会福祉学専攻	修士 博士(前期)	13	8	9	6	6	4	8	6	12	10	
		博士(課程)	6	1	8	0	10	0	9	0	6	3	
		博士(論文)	/	0	/	0	/	0	/	0	/	0	
	心理学専攻	修士 博士(前期)	21	18	18	16	26	22	19	16	21	18	
	社会学専攻	修士 博士(前期)	3	2	7	5	2	1	4	2	2	2	2008年4月募集停止
		博士(課程)	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	2008年4月募集停止
博士(論文)		/	0	/	0	/	0	/	0	/	0		
国際経営・ 文化研究科	国際経営専攻	修士 博士(前期)	14	12	21	20	10	10	10	9	15	13	
	国際文化専攻	修士 博士(前期)	6	5	6	4	11	6	9	8	6	3	

[注] 1 「修了予定者」欄には、留年者も含め、当該年度修了予定の在籍学生数を記入してください。

2 当該研究科もしくは専攻、課程が最近開設され、そのために学位授与該当者がいない場合は、備考欄にその開設年月日を記載してください。